一月月浪能特別会

一月十日（日）
午後一時始

13:00 翁

シテ 和久荘太郎
面箱 石田淡朗
三番叟 野村裕基
千歳 藤井秋雅
大鼓 亀井広忠
脇鼓 住駒匡彦
頭取 幸信吾
笛 藤田次郎
脇鼓 森貴史

烏帽子之祝儀

後見 宝生和英
金森秀祥

地謡 金森良充
高橋憲正
大友順
今井泰行
當山孝道
前田尚廣
東川光夫

14:00 鶯

野村万作
深田博治

14:45 葛城

シテ 宝生和英
大和舞
ワキ 宝生欣哉
ワキツレ 御厨誠吾
〃 野口能弘
間 石田幸雄
大鼓 安福光雄
小鼓 森澤勇司
太鼓 金春惣右衛門
笛 一噌庸二

後見 小林与志郎
田崎隆三
田崎甫

地謡 辰巳大二郎
東川尚史
小倉健太郎
佐野登
高橋章
大坪喜美雄
山内崇生

〈休憩十五分〉

16:15 烏帽子折

シテ 武田孝史
子方 水上嘉
ツレ 野月聡亘
若武者 高橋克徳
立衆 小林晋也
〃 亀井雄二
〃 佐野弘宜
〃 内藤飛能
〃 藪克徳
〃 佐野玄宜
法師 小倉伸二郎
〃 川瀬隆士
ワキ 殿田謙吉
ワキツレ 大日方寛
間 野村萬斎
〃 中村修一
〃 内藤連
〃 野村太一郎
〃 飯田豪
大鼓 佃良勝
小鼓 住駒匡彦
太鼓 小寺佐七
笛 松田弘之

後見 亀井保雄
辰巳満次郎
水上優
辰巳和磨

地謡 當山淳司
澤田宏司
渡邊茂人
金井雄資
佐野由於
朝倉俊樹
藤井雅之

〈休憩十五分〉

演目の解説

能「翁」（おきな）
一番目物。天下泰平・国土安穏・五穀豊穣・千歳万歳を祈る祝言曲。翁・三番叟の舞を中心に構成される。

能「鶯」
春の訪れを告げる鶯の鳴き声を聞いた男が、梅の花を求めて都から奥州へ下る。途中で出会った翁から、この地の梅は鶯が来ないと咲かないと教えられ、鶯を呼び出すと、鶯の精が現れ舞う。

能「葛城」（かずらき）
山伏が葛城山に分け入り、夜の勤行をしていると、女が現れ、自分は葛城の神であると語り、山の桜の美しさを讃えて消え失せる。後場では、女の正体を問う山伏の前に、葛の葉を身に纏った女神が焚き火を背に現れ、舞を舞う。

能「烏帽子折」（えぼしおり）
牛若丸が奥州へ下る途中、烏帽子屋の娘に出会い、烏帽子を買う。娘は牛若丸の美しさに惹かれ、烏帽子を献上しようと、宿の主人に頼む。主人は、盗賊の首領の受け取りを拒絶し、盗賊の襲撃を受ける。牛若丸は、盗賊の首領を切り伏せ、娘を救う。

終演予定十七時四十五分頃

チケット料金
（税込）
S席　13,200円
A席　11,000円
B席　9,900円
C席　8,800円
D（自由）席　6,600円

ご購入は
オンラインチケット
または
宝生会事務局まで